

「コロナ禍で安寧に生活する為に」 家族介護教室 開催



感染対策はばっちり！

3月3日（水）東金商工会館4階にて『コロナ禍で安寧に生活する為に』をテーマに家族介護教室を開催しました。

今回は完全予約制の定員20名とし、申し込みされた方には事前に体調確認票を送付、記入して持参頂き当日も検温や体調確認を経て入場という厳重な感染予防対策下での開催となりました。

第1部のCOVID-19に対する当院の対策と今後の展望では（医）静和会浅井病院副院長の坂間淳孝先生より、院内の感染対策や細菌とウイルスの違い、コロナウイルスの細胞構造、ワクチンの有効率や安全性、今後の注意点等お話しいただきました。「ワクチンの接種が自分や大切な人を守る

るだけでなく、経済を回すことにもなり結果社会を守る事に繋がっていく。接種する事での副反応より、接種しないことによる感染・重症化・死亡の方がリスクは大きい。「ワクチン接種が個人と社会を守る！」と、丁寧に説明頂き、不安が安心に変わり前向きになりました。

第2部の「コロナ禍にこそ、保ちたいこころの距離」では上智大学グリーンケア研究所認定臨床心理士の松下やえ子先生よりコロナ禍がもたらす身体や心の変化や脳トレにもなるSNS等へのチャレンジ、ソーシャルディスタンスを保ちながらのレク等実技を交えてお話

いただきました。「ストレスをためない暮らし方や会話よりも対話が大事。感染予防をしっかりして、閉じ



心のケアにもつながりました

こもらずに『人と人が繋がる心の距離を保ちましよう！』と、たいへん心に響くものでした。

「坂間先生のお話を聞いて不安が払拭された」「もっと多くの市民に聞かせたい」「心のゆとりや安心感を頂いた」「安心してワクチン接種したい」「松下先生のお話は自分を前向きにしてくれた」「心の変化を認識しておくことが家族介護に重要な事が分かった」等、たくさん喜びの声を頂きました。

いまだ収束がみえない中、コロナ禍でも感染予防対策を正しく実践する事で、今までとは異なる形を変えた開催方法でしたが、少しでも地域の皆様の安心・安全に繋がる有意義な時間になった事、そしてこれからもお役に立てればと思っております。

開催にあたり、講師の二人並びに参加された皆様、開催にご理解・ご協力頂いた関係者の皆様に感謝申し上げます。

文責

浅井ヘルスケアグループ
笠原正美

合格おめでとう！

第221回珠算検定試験
（令和3年2月14日施行）

1級受験者	11名合格者	1名
2級受験者	10名合格者	3名
3級受験者	23名合格者	8名
4級受験者	6名合格者	4名
5級受験者	1名合格者	1名
6級受験者	3名合格者	3名
7級受験者	7名合格者	7名
8級受験者	5名合格者	5名
9級受験者	1名合格者	1名

第157回簿記検定試験
（令和3年2月28日施行）

2級受験者	46名合格者	1名
3級受験者	153名合格者	99名

珠算一級合格 暗算一級合格



眞鍋 創さん



村田 知陽さん



大塚 雅央さん

合格された皆さんおめでとうございませう！ 上級を目指して頑張ってください！

とうがね夜間創業塾 開催！！

1月15日から2月26日まで全7回にわたり「とうがね夜間創業塾」を開催しました。

1回から6回目の講習会では、「創業の心構え」や「販路開拓」、「労務」、「金融」など様々な専門家の講師の方を招き、創業に必要な知識を学びました。

最終回では今までの集大成である創業計画書の発表会ということで、各々事前に用意した資料や商品などを使って、創業への熱い思いのこもった発表が行われ



定員を上回る23名の方が集まりました

ました。今回の受講生は、昨年より続いているコロナ禍の影響をきっかけに創業を意識した方も多く、例年と比べてITサービス

や社会貢献を目的とした事業での創業希望者・女

性の創業希望者が増え、世相を反映した個性豊かな方々が集まったと感じました。

発表会終了後も参加者同士で活発な意見交換が行われていました。これからも皆さまの活躍を職員一同サポートしていきたいと思ひます。

来年度も開催を予定しています。WizU等で告知しますので、ぜひ参加をご検討ください。

無料！ 事業承継出張相談会

「後継者がいない」、「事業の引継ぎが不安だ」、「取引先に迷惑をかけないように会社を譲渡したい」などのご相談について、経験豊富な事業承継専門家が悩み解決に向け対応いたします。早めの行動が円滑な承継の第一歩となります。どうぞ、この機会にご利用ください（毎月第3木曜日に開催します）。

日時 4月15日（木）
①10：00～ ②13：00～ ③14：30～
※①②③内でご希望の相談時間を予約してください。
会場 東金商工会館 2階相談室
申込 当所2階窓口にて申込書を設置しておりますのでご利用ください。
問 千葉県事業引継ぎ支援センター（千葉商工会議所内）
TEL 043（445）8205 FAX 043（445）8206

池の端より（六十九） 共生

高校の南門の近くに一風変わった桜の木が2本ある。桜の上に別の木が生えているのですぐにそれと分かる。木の上に木が生えているというのは、中心となる幹が枯れ、そこに別の木の種子が芽生え成長したもので、宿り木のように見えるが寄生しているわけではない。別の木というのは一つはハゼノキ、もう一つはシャリンバイ。いずれも近くに元の木があり、鳥が実を食べ種子を運んだものと思われる。数年は経っているだろう。成長の早いハゼノキは2m位にもなっている。桜の幹や枝が何らかの理由で一部が枯れて朽ちていく。そこに鳥が来る。運ばれた種子は朽ちた所から水分や養分を提供してもらい、発芽・成長する。木の上ということもあり、光もよく当たる。偶然の産物。桜にとってはプラスになることは何もないだろう。庇を貸して母屋を支えられるものになるのか。歩きたび気になる。

細川 隆